

伝の心販売会社 御中

発行：2018年8月22日  
(株)日立ケーイーシステムズ

## \*\*\*「伝の心通信」(第33号)\*\*\*

毎度ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
「伝の心通信」(第33号)を発行させていただきます。

### トピックス

### 1. メールを正常に開くことができない場合の対処方法

今回は、

1. メールを正常に開くことができない場合の対処方法
  2. 不具合等で伝の心を修理依頼される前のご確認について
- の2点をご紹介します。

#### 1. メールを正常に開くことができない場合の対処方法

メールを開こうとした際に、「メールファイルへのパスが有効ではありません」等と表示され、正常にメールが開けない場合は、メールの実態と送受信箱の一覧の整合性が取れていません。

この現象は、「一時ファイル(キャッシュファイル)」に起因していますので、整合性を作り直す為に「一時ファイル(キャッシュファイル)」を削除して、再構築する必要があります。

#### 一時ファイル(キャッシュファイル)とは？

メール機能における「一時ファイル(キャッシュファイル)」とは受信メールや送信メールの一覧表のようなもので、表示処理を早くする役目があります。

#### (1) Ver.06-01 以前の場合

直接「一時ファイル(キャッシュファイル)」を削除する必要があります。

①伝の心を停止します。(メインメニューで、Ctrl キーを押しながら、右上の「×」ボタンをクリックします。)

②「C:\Users\%DENUSER%\Documents\DenNoSin\メール\%XXX(アカウント名)\%設定」を開きます。

③XXX.cache ファイルを削除します。

(「.cache」の拡張子は、出荷時設定では、表示されておきませんので、XXX.xml と間違わないようにファイルの「種類」をご確認ください)

④一度、伝の心メールを起動し、終了させます。

(この操作で「一時ファイル(キャッシュファイル)」が再構築されます。)

※このままでは、全てのメールに未読の「NEW」マークがついてしまうので、「NEW」マークを消す方法を以下に示します。

⑤伝の心を停止させます。

⑥XXX.cache をメモ帳で開きます。

⑦「編集」―「置換」で、下記文字列を入力し、「すべて置換」ボタンを選択します。

検索文字列:<Checked>0

置換文字列:<Checked>1

⑧「ファイル」―「上書き保存」で変更したメールの「一時ファイル(キャッシュファイル)」を保存します。

⑨「ファイル」―「メモ帳の終了」で、メモ帳を終了します。

⑩伝の心を起動して、「NEW」が消えていることと、メールが正常に開けることを確認してください。

## (2) Ver.06-02 以降の場合

支援者用設定の「メール設定」から、「一時ファイル(キャッシュファイル)」の再構築が可能になりました。

- ① 伝の心メインメニューの「設定」を選択します。
- ② 「支援者用設定」を選択します。
- ③ 「メール設定」を選択します。
- ④ メールアカウントを選択します。
- ⑤ 「一時ファイル」ボタンを押下します。

名称	表示名	メールアドレス
既定	伝の心メール(サンプル)	日立 和夫

※「一時ファイル(キャッシュファイル)」を再構築すると、既読メールに「NEW」マークがついてしまいますが、「NEW」を消すことも可能です。

- ⑥ 下記の3つの処理方法から選択します。

アカウント名: 伝の心メール(サンプル)

一時ファイル(キャッシュファイル)を再構築(メール未読化:受信メール欄にNEWが表示されます)  
選択したアカウントの一時ファイル(キャッシュファイル)を再構築後、全てのメールを未読にします。

一時ファイル(キャッシュファイル)を再構築(メール既読化:受信メール欄のNEWが消えます)  
選択したアカウントの一時ファイル(キャッシュファイル)を再構築後、全てのメールを既読にします。

メール既読化(受信メール欄のNEWを消します)  
選択したアカウントの全てのメールを既読にします。

実行      キャンセル

「一時ファイル(キャッシュファイル)」再構築後、全てのメールを未読(「NEW」マーク付)にします。

「一時ファイル(キャッシュファイル)」再構築後、全てのメールを既読(「NEW」マーク無)にします。

全てのメールを既読(「NEW」マーク無)にします。  
「一時ファイル(キャッシュファイル)」の再構築は行いません。

- ⑦ 「実行」ボタンを押下します。
- ⑧ 伝の心を起動して、「NEW」マークが消えていることと、メールが正常に開けることを確認してください。

## 2. 不具合等で伝の心を修理依頼される前のご確認について

最近、弊社修理部門へご依頼いただいた点検・修理品で、ユーザ様にお願いしている設定や支援者・販売店様の作業で正常に動作させることができる依頼品が散見されております。

本体が起動しない場合や破損している場合を除き、弊社修理部門へ点検・修理依頼をされる前に、一度症状等を弊社修理部門・設計部門へご確認・ご相談いただけますと、現品をお送りいただかなくても済む場合がございます。

(1) ユーザ様にお願いしている設定等に関するご依頼例(弊社では、お受けしていません。)

- ① インターネット設定の不備
- ② メール設定の不備
- ③ センサースイッチの故障・不具合
- ④ プリンターの故障・不具合

(2) 支援者・販売店様の作業で復旧できる例

- ① メールが開けない場合⇒一時ファイル(キャッシュ)再構築(上記1. 参照)
- ② 伝の心終了時バックアップができない⇒バックアップメモリの挿しなおし
- ③ 伝の心や伝の心各種機能が起動しない⇒設定ファイルをデフォルトに戻す

※不具合と思った際、再起動やシャットダウンから電源オンを何度か行っていただくと解消する場合もございます。

一度だけ発生した事象では、お預かりしても現象の確認ができない場合がございます。何度も同じ現象が発生する場合に、点検・修理をご検討いただけますようお願いいたします。

弊社修理部門へお送りいただくと、最低限の点検費用と送料が掛かってしまいますので、お気軽にご相談いただければと存じます。

・伝の心修理ご相談メールアドレス: dnsp@hke.jp

また、前回(第32号)で、ご紹介いたしましたが、弊社ホームページにも「トラブルシューティング」等ございますので、一度ご確認いただければと存じます。

—以上—

### 次回のトピックス予告

次回も「伝の心通信」を通じて、少しでも皆様のお役に立つ情報をお伝えして参ります。  
また、皆様より、ご意見、取り上げて欲しいトピックス等も募集しておりますので、下記までお送りください。  
e-mail: dennoshin@hke.jp

※本お知らせを、「伝の心」の各ご担当者様にも展開いただけますよう、お願い申し上げます。